



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒
 〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和4年12月9日（金）
 第33号
 発行責任者
 校長 志賀 嘉津美
 電話 22-3802

プログラミングにチャレンジ！～テクノロジーでSDGsに貢献～

12月3日（土）、人型ロボット Pepper を使用したプログラミングとプレゼンテーションの技能を競う「スクールチャレンジ南相馬市大会」が原町生涯学習センターで開催されました。

今年のテーマは「テクノロジーでSDGsに貢献する」で、本校は『ふくしまゼロカーボン推進を目指して』～自分たちでできる環境保全を考えよう！～という内容で参加しました。部活動の合間をぬってプログラミングを行ってきた、堀内さん（2年生）と平さん（1年生）の2名が出場しました。2人は環境保全の重要性をクイズにしたプログラムや温室効果ガス排出量削減のために生徒会や全校生徒が取り組んでいる内容を紹介するプログラムを Pepper とともに発表しました。校内でも昼休みに見学希望者を前にプログラムの実演を行ったり、アンケートを行ったりしながら完成度を高めていました。

課題を解決するために Pepper を活用するアイデアは素晴らしく、その発表も堂々としていました。エネルギー問題の解決に向けて私たちにできることを訴えてくれた2人は、「優秀プレゼン賞」を受賞することができました。プログラミング教育で学ぶ情報技術は、あらゆる業界の基盤になってきています。今回の2人のチャレンジを、今後に役立ててほしいと思います。



東京打撃団 和太鼓公演 12月8日（木）、「文化芸術による子供育成事業」による和太鼓グループ「東京打撃団」の公演が開催されました。スピーカーやマイク等の機器を通すことなく、空気の振動を直接、耳や体で感じた圧巻の和太鼓演奏に心を震わせた1時間半でした。速さと正確さを兼ね備えたバチさばき。腕を大きく広げて円を描き、力強く振り下ろされたバチに応える太鼓の鼓動。目の前で繰り広げられるパフォーマンスに圧倒されっぱなしでした。

公演の中では、先月のワークショップでご指導をいただいた1年生が夢の共演を果たすことができました。東京打撃団の皆様、ありがとうございました。



読書祭り 絵本の読み聞かせ 11月4日から12月9日まで、本校の図書室では「読書祭り」が開催されました。読書祭りの内容は、貸出冊数に応じたしおりのプレゼントや読書スタンプなど、学校司書の木幡さんと図書委員が考案し、様々なイベントを行っていました。その一つが「絵本の読み聞かせ」です。絵本の読み聞かせは、各学年の図書委員が絵本を選定し、昼休みを利用して行いました。一冊の絵本との出会いを楽しみに、多くの生徒が読み聞かせに図書室を訪れました。他にも、新たな本と出会うきっかけとなる特設コーナーが設けられるなど図書室は連日大盛況でした。



読書に関する調査より

- 「1か月間（11月）の読書冊数」は、生徒一人当たり7冊でした。
- その本を選んだきっかけは、「学校の図書館で見つけた」が全体の約60%でした。